

令和4年度 第1回スマートシティモデル事業等推進有識者委員会 議事概要

日 時：令和4年7月28日(木) 10:00～12:00

場 所：国土交通省6階局議室(Web併用)

※資料に基づき説明がなされた後、下記の意見交換がなされた。

○意見交換

【令和4年度のスマートシティの推進に向けた取組】

(スマートシティ事例集に関して)

- スマートシティ事例集の作成に関して、事例で示したサービスの導入コストの目安を示すことができれば、サービス導入を検討する地域が具体的なコスト感を知ることができ、実装に向けた検討を促進することが期待できる。
- 各地で実証実験は多く実施しているものの、実装化は数件しか満たない事例もある。そのような実証実験事例の活用には注意が必要である。

(複数サービスの連携に向けたガイドラインに関して)

- 国としてガイドラインを示すことで、類似の取組を行う地域の検討プロセスを効率化することができる。
- ガイドラインを個別分野でまとめていくと縦割り感が強いと感じる。分野内だけでなく、分野間連携にも意識してとりまとめてほしい。
- 一つの定まったサービス連携を示すのではなく、地域の課題等に対応したサービスを選択できるようにするのがよい。
- サービス連携の事例等の情報は多くある方がよいが、情報が埋もれないことにも留意し、各地域が必要とする事例を検索しやすくするための工夫も必要である。
- 各サービスのデータ連携に関して、個別サービス導入後に、他のサービスとデータ連携させることは難しいことが多い。そのため、各サービスの検討段階から他分野との連携を見据えた検討が必要である。

(その他)

- スマートシティの取組が各地で増えてきており、それぞれの取組を評価するプロセスを導入することが重要である。
- 評価の際には実証と実装の違いに気を付けないといけない。先進的な取組など実証事業として評価できる取組であっても、実装面のコスト・運営面で課題があるものには留意が必要である。

以上